

KA-1300R ウェイト着脱時旋回ロックピン入れ忘れによる不具合

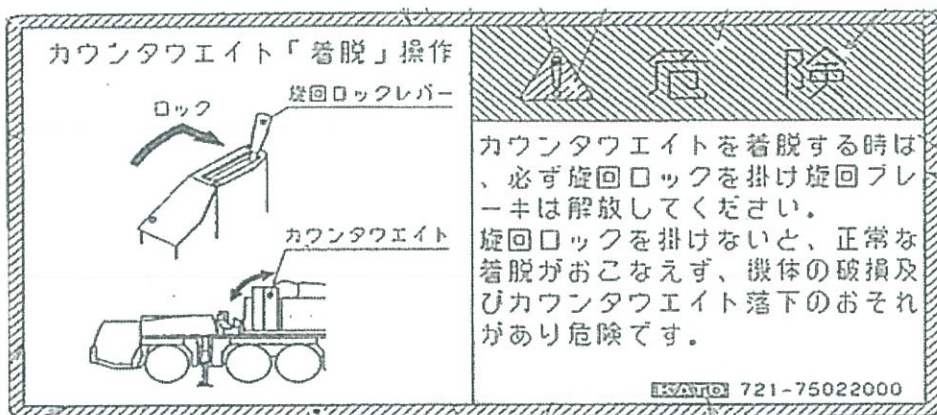
弊社オールテレーンクレーン KA-1300R においてカウンターウェイトをキャリア上で旋回体から着脱するときに旋回ロックピンの固定位置で旋回ロックピンの挿入が不完全の状態で行った脱操作を行い、セット位置にウェイトが下がらずにウェイト及び旋回体カバー等の破損が発生した事例が起きました。

○発生原因について

ウェイト脱時に旋回体を 180 度方向の位置で旋回ロックピンを固定位置で挿入し確実に入っていることを確認せずにカウンターウェイトの脱操作を行いセット位置からずれていたことでウェイトが傾き各部の損傷が発生しました。

○再発防止について

キャリア上でのウェイト着脱作業時には、必ず旋回体を固定します旋回ロックピンレバーをロック側に着実に入れて旋回ロックピンを固定位置に挿入させて下さい。又着脱作業時、旋回ブレーキは必ず開放してください。



着脱時にセット位置に
ウェイトが下がらないと
カウンターウェイト及びカバー類が
破損します。

